

平野区地域自立支援協議会

平成26年7月24日(木)、15:30～

平野区役所 5F 区長応接室

前回(4/24)の内容

・協議会の組織編成

運営員会のメンバー選定方法については再考が必要では？

活動しながら組織化することでよいのでは？

今回集まることができたメンバーで当面運用することでいいのでは？

前回(4/24)の内容

- ・部会設置

自主活動グループへの参画依頼

平野区障害者福祉勉強会

相談支援事業所連絡会

平野区通所事業所連絡会

前回(4/24)の内容

・事務局メンバー

平野区社会福祉協議会 地域活動	伊藤久美子
平野区保健福祉センター(地域福祉担当)	中村泰士
平野区障がい者相談支援センター	小河原英夫
相談支援事業ひらの	保田真規生

前回(4/24)の内容

・今後の運営方法

前回メンバーを運営員会メンバーとみなし、運営方法や協議会の方向性について7月に継続協議する。

出来るところから話し合える場。

具体的なアクションを示す。

当事者ニーズに合った協議会。

ニーズに対する連携・情報交換。

部会設置

自主活動グループからの回答

協議会の進め方

組織編成を優先とする？

課題設定を優先とする？

協議会の進め方

<組織編成>

どのように人選する？

承認者は？

協議会への参加が可能で意見交換できるメンバーの集まりからのスタートではだめなのか？

相談支援事業所等が中心となるべきか？

学識経験者等の参加が必要か？

協議会の進め方

< 課題設定 >

当事者の生の声が必要。

どのように課題を抽出し一般化して協議するか？

平野区保健センター、平野区障がい者相談支援センター、相談支援事業所で課題把握ができていますか？

課題(当事者ニーズ)に合った多職種の実験が必要では？

協議会の進め方(提案)

運営委員会のメンバー選定

→設置要綱に従った組織化が望ましいが人選や承認といったプロセスをどのようにクリアするかについては明確になっていない。

→このような状況下で集まったメンバーを運営委員会として位置づけるのには抵抗がある。

→これまでに協議会に参加してきたメンバーを準備会メンバーとしてはどうか？

協議会の進め方(提案)

<事務局>

立案・企画

- ・設置要綱の見直し
- ・課題設定
- ・課題に見合った人材の参加要請

<協議会(準備会メンバー)>

意見聴取・方針決定

<部会>

活動の継続

協議会の目的

関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする。

平野区の障がい者のために支援体制に関する地域のネットワークを構築する。

次回

日 程 平成26年10月24日(木)、15:30

参加者 事務局、準備会メンバー、部会長

議 題

- 設置要綱の見直し(案)
- 課題設定(案)